

令和4年10月13日  
環境清掃部清掃リサイクル課

## 東京エコサービス株式会社の現況について

### 1 会社の概要

- (1) 設 立 日 平成18年10月24日
- (2) 資 本 金 2億円
- (3) 出 資 者 東京二十三区清掃一部事務組合  
東京瓦斯株式会社
- (4) 本 社 東京都港区浜松町1丁目10番17号
- (5) 代表取締役 佐藤 良美（社長）、大久保一成（副社長）
- (6) 事 業 内 容
- ① 廃棄物中間処理施設の運転管理受託業務
  - ② 廃棄物中間処理施設が保有又はこれに付帯する資産の有効活用業務
  - ③ 廃棄物中間処理施設に関わるコンサルティング業務
  - ④ 労働者派遣業務
  - ⑤ 機械器具設置工事業の業務
  - ⑥ 電気工事業の業務
  - ⑦ 管工事業の業務
  - ⑧ 前各号に付帯する業務

### 2 経営成績（令和3年度）

（単位：円）

売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
11,311,989,618	645,853,118	657,870,797	448,573,235

### 3 令和4年度事業計画

#### (1) 受託事業

##### ① 清掃工場運転管理等業務

令和3年度に引き続き5清掃工場（大田・北・港・豊島・練馬）の運営にあたって、「安全・安心の確保」「安定操業」「コストの抑制」を念頭に着実に実施していく。また、清掃一組の協力を得ながら、技術継承や社員の能力開発・育成について継続的に取り組むとともに、新たな業務の受

託を目指し、社内体制の強化を図っていく。

## ② 焼却灰の資源化に関する管理調整業務

清掃工場から排出される焼却灰をセメント原料化等資源化する事業に伴う管理調整業務として、令和3年度に引き続き71,000トンで計画し、灰輸送に使用する鉄道・船舶輸送用コンテナの調整・運用・管理、関係者との連絡調整及び進捗管理等を行いつつ、事業の円滑な進行を図っていく。

また、同様に受託している徐冷スラグ化に関する管理調整業務についても、事業の円滑な進行を図っていく。さらに、新たに開始される搬入先や輸送手段の実証確認についても円滑な業務遂行に努めていく。

## ③ コンサルティング業務

これまで清掃工場運転管理等受託業務で培った技術等を持つ社員が連携し、自治体からの継続的な技術支援業務の受託を目指していく。また、これまでの技術支援業務での経験や施設運営管理に精通した当社の強みを活かし、自治体の施設運営に貢献する技術支援業務の拡大に努めていく。

## ④ 建設事業

令和3年度は、清掃一組の清掃工場において、クレーンワイヤーロープ交換工事等6件の工事を施工した。令和4年度も引き続き、清掃一組の清掃工場を中心に営業活動を行う。

# (2) 電気販売事業

## ① 卸販売

4 清掃工場（板橋・足立・墨田・杉並）の非FIT電気を清掃一組から購入し、小売電気事業者に確実に販売する。

## ② 小売販売

15 清掃工場（品川・豊島・北・渋谷・多摩川・港・世田谷・葛飾・有明・千歳・新江東・中央・大田・光が丘・練馬）に加え、大田第一清掃工場（令和4年9月～）の電源を用いて、令和3年度とほぼ同規模の761件（契約電力：約11万kW）に販売していく。

今後も、環境価値を有する清掃一組のごみ発電による余剰電力を最大限に有効活用すべく、関係機関や業界との情報交換・収集を行い、電力事業を取り巻く状況の変化に柔軟に対応した事業展開を目指す。